

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	10	学校名	岐南工業高等学校
------	----	-----	----------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域のものづくりの将来を担う工業高校として 専門知識や技術を活かした、生徒主体の協働的な学びや学科横断的な学びを通して 社会課題を解決し未来を創る産業人の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	校訓「創意実践」のもと、知・徳・体の調和を目指し、心豊かで、創造力・実践力のある産業人を育成します。 全ての教育活動を通して「自立力」「共生力」「自己実現力」をバランス良く身に付けた人づくりを目指します。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・主体的に行動し責任を持ち、基礎・基本を身に付けた生徒 ・自己の役割を認識し、周囲と協力し、工業の発展のために積極的に自己の能力を生かそうとする生徒 ・規範意識・倫理観・創造力・実践力等、職業人として必要な資質を身に付け、工業技術を活用し社会に貢献する生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・産業界との連携や課題研究等を通し主体的に学び続ける力、課題解決能力、職業人として必要な資質や能力を育成 ・ものづくりや資格取得、各種コンテストへの参加から、知識・技能を習得、社会人基礎力を身に付けた人材を育成 ・学校行事や部活動及び生徒会活動から心身の健全な発育、仲間意識、責任と規律を重んずる態度を育成	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・興味・関心を持ち、専門的な知識と高度な技術の修得に誠実に取り組み、地域産業の発展を支える人材になるという意欲のある生徒 ・多様な人々とのつながりを大切にし、他者と協働し目標に向け努力する生徒 ・高校生活に明確な目標を持ち、学習だけでなく資格取得や部活動にも意欲的に取り組むことができる生徒	
学校の抱える課題	・生徒が主体的、意欲的に取り組む授業展開と確かな学力の育成との両立 ・基本的生活習慣の確立と規範意識やコミュニケーション能力の向上 ・高校での学びと将来のつながりを実感できるよう、キャリア教育を軸とした体系的な進路支援の構築 ・地域や産業界等との外部連携による実践的・横断的な教育活動の一層の充実		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	・職業人としての規範意識や倫理観を育成し、部活動やものづくり、資格取得を通して時代に即応できる人材の育成を目指す。 ・授業改善をはじめとする教職員の資質向上を目的とした研修を計画的に実施するとともに、働き方改革、働きやすい職場づくりを推進する。	
	学習指導	・目標を明確にしたわかりやすい授業の展開に取り組み、ICTを活用するなど理解の質を高めて確かな学力を育成する。 ・探究活動や協働的な取組を推進し、生徒一人一人の自主的・主体的な学習態度を育成する学習活動を充実する。	
	生徒指導	・自らの行動に責任を持ち、主体的に判断し行動できる態度や、積極的に自己を生かす能力を育て、一人一人に生きる力を育む。 ・問題行動や不登校については、全教職員が危機意識を持ち、共通理解のもとで組織的に対応し、事故やトラブルの未然防止・早期対応に努める。	
	進路指導	・各種講話や体験学習等を通して、社会や産業の進展を知り、社会の要請に対応できる勤労観・職業観の育成に努める。 ・進路の多様化を考慮して、将来を見通した進路指導が的確にできるよう情報・資料等の収集に努め、充実した進路支援を行う。	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	学校運営や指導内容、広報活動の改善を継続し、企業や保護者など地域と一体となって魅力ある学校づくりを推進する。	施策Ⅳ-20	・生徒および保護者のアンケート結果 ・部活動、行事の実施状況および成果				
	産学官連携による横断的な学びや地域イベントを通して、ものづくりの楽しさ・大切さを理解し、社会に貢献できる人材の育成を推進する。	施策Ⅱ-10					
	行事や部活動を通して、自己表現力や他者理解を深めるとともに、スポーツや文化芸術など個性を伸ばす教育を充実する。	施策Ⅰ-1					
	教職員間の連携を密にし、働きやすく、働きがいのある良好な職場環境づくりを推進する。	施策Ⅳ-28					
学習指導	授業規律を徹底するとともに、体験活動や探究活動など魅力ある授業を推進し、意欲的な学習態度を育成する。	施策Ⅱ-8	・生徒による授業評価の結果 ・生徒および保護者のアンケート結果 ・技能検定等の合格者数 ・各種コンテスト結果 ・研究授業、公開授業の教員間評価や感想				
	ICT機器を積極的に活用した授業改善を図るとともに、ICTを主体的に活用できる力を育成する。	施策Ⅱ-9					
	工業科目と普通科科目の教科横断的視点による研究授業に取り組み、深い学びにつなげる授業を展開する。	施策Ⅳ-26					
	各学科の特徴を生かした競技会への積極的な参加、資格取得の支援ができる指導を推進する。	施策Ⅱ-10					
生徒指導	遅刻防止指導や身だしなみ確認、挨拶・マナー指導を通して、基本的生活習慣の確立と規範意識を育成する。	施策Ⅰ-1	・生徒および保護者のアンケート結果 ・交通安全指導の実施状況 ・いじめアンケートや教育相談の状況				
	外部専門機関との連携強化を図り、不登校傾向や発達障がい傾向のある生徒の早期把握と対応を目指す。	施策Ⅰ-3					
	生徒会やMSリーダーズの活動協力を得ながら自転車通学のマナー向上を図り、交通講話等の機会を活用した交通事故防止の指導を徹底する。	施策Ⅲ-19					
	ネットワークに潜む様々な危険性や問題点に気づかせ、情報モラルやマナーを守って適切に利用できるよう指導を徹底する。	施策Ⅰ-3					
進路指導	自己の適性や可能性を理解し、地域や産業界と緊密な連携を図りながら、勤労観・職業観の育成を目指す。	施策Ⅱ-14	・生徒・保護者のアンケート結果 ・インターシップの評価や感想 ・進路決定の状況				
	生徒の発達段階に応じた進路ガイダンスや進路相談週間を活用した体系的な進路支援を行う。	施策Ⅱ-13					
	インターンシップの実施方法を改善してキャリア支援の充実を図り、個々の進路実現に向けた取組を推進する。	施策Ⅱ-13					
	保護者に対する情報発信を積極的に実施し、進路希望調査等の機会を捉えて家庭と連携を図り、生徒の進路実現を支援する。	施策Ⅰ-7					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日